

日本花き取引コード（ＪＦコード）の活用②

ＪＦコードの現行整理

ＪＦコード	品目名	系統名	色彩	名称	和名
1	ウレ		リタ	°(リタ)	
2	ウレ		ピンク・サモンピンク	ロバータ (=ホントナカ)	
3	バラ	スタンダード	アカ	クワトロリ	
:	:	:	:	:	:
13983	カーペラ	スタンダード	ピンク・サモンピンク	アンニヤ	
13985	カーペラ	スタンダード	リタ	イルムカート	
13986	カーペラ	スタンダード	ピンク・サモンピンク	オニキス	
13987	カーペラ	スタンダード	リタ	オンジウム	
13990	カーペラ	スタンダード	キロ・クリーム	スタンダード (キロ)	
13991	カーペラ	スタンダード	アカ	スタンダード (アカ)	
13992	カーペラ	スタンダード	ピンク・サモンピンク	スタンダード (ピンク)	
13993	カーペラ	スタンダード	リタ	クイン	
13995	カーペラ	スタンダード	キロ・クリーム	コンスタン	
13997	カーペラ	スタンダード	リタ	サンマロ	
13998	カーペラ	スタンダード	シロショク・ハニロ	シャンタル	
:	:	:	:	:	:
53244	イチ	リンギク	シロ	シンバ	神馬
:	:	:	:	:	:
221296	イチサア		リタ	デイクシ (シリーズ)	
221297	イチサア		アカ	デイクシ スカーレット	

- 1 から連番で発番。現在、221300番まで発番されている。
- 和名は必須項目でなく名称(半角カタカナ)が基本名称となっている。カタカナ長音が、半角ハイフンになっている。先頭濁点に意味あり。
- 全農品目コードへはダイレクトにリンクはできない。(分類など経由で変換必要。)

日本花き取引コード（JFコード）の活用②

JFコードの現行整理

JFコードの例 カスミソウ シュッコンカスミソウ シロ アルタイルロング

○ JFコード詳細情報

○ 基本表(普及促進協議会形式)

JFコード	85520
最終更新日時	2012/07/26 17:02:06

	記号	名称
大分類	0	草花類
中分類	2	中品目
品目	00	カスミソウ
系統	0	シュッコンカスミソウ
色彩	0	シロ
品種名1		アルタイルLG (=アルタイルロング)
品種名2		
品種名3		Gypsophila paniculata
品種名区別記号	1	
追加内容フラグ	00	
追加バージョン	212	

大分類	8分類（0；草花類、1；球根類、2；ラン類、3；多肉サボテン、4；観葉植物類、5；木本類、6；野菜・果樹類、9；その他）
中分類	各大分類の下位階層として、合計31分類
品目	系統分類上の種や多数の品種をまとめた園芸種に相当
系統	品目の下位階層にある分類項目。その中身は花色の違いでまとめた品種群やまとまりの良い品種群や種群など

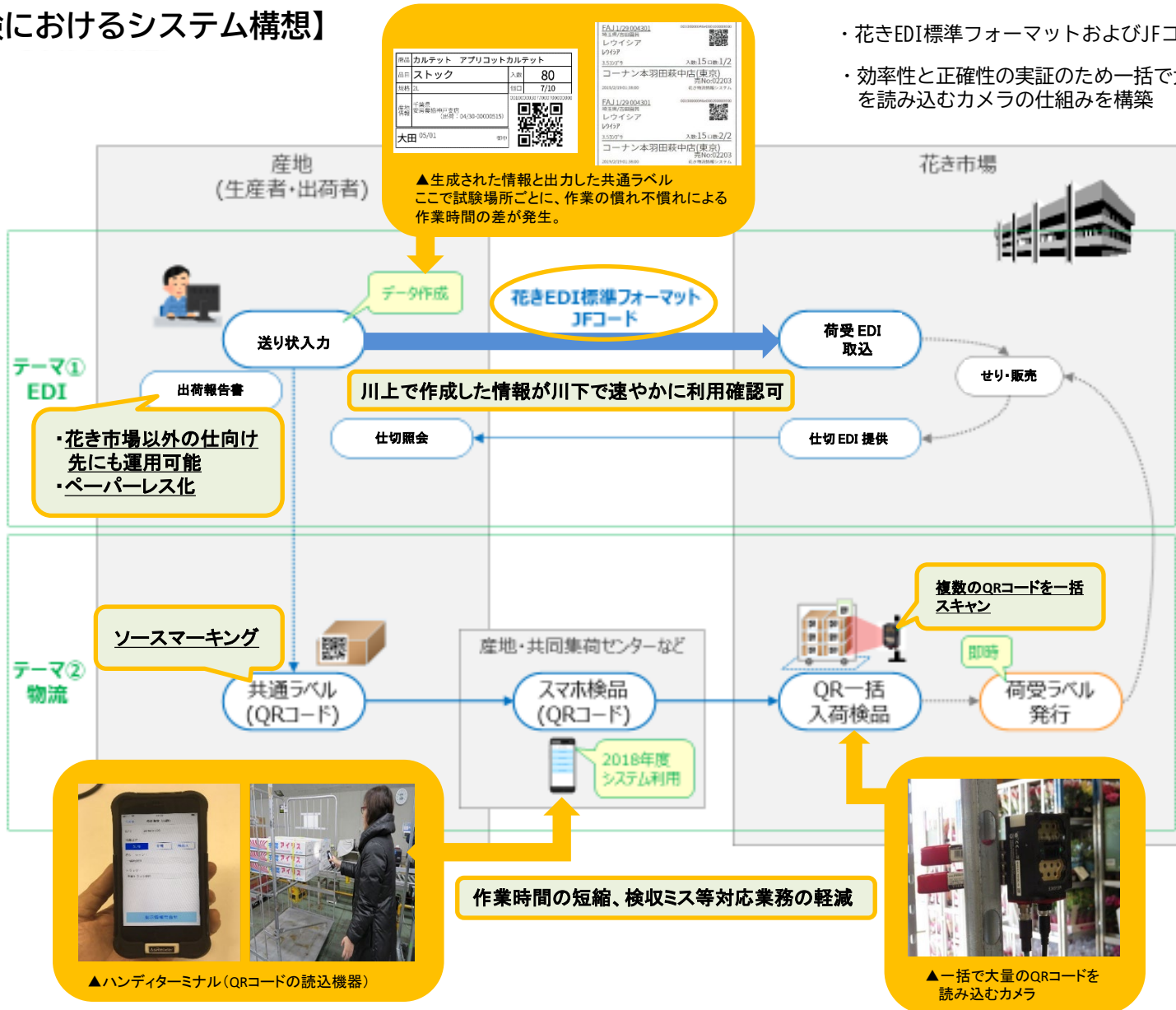
ソースマーキングの有効性の検討①

1. ソースマーキングに関する現状の整理	①発注書や送り状は一部電子化も見られる一方、現在も手書きのFAX等によるものが多い。 ②検収作業は目視によるものが多く、作業人数や作業員の熟練度合いにより作業時間が左右される。 ③電子化していてもEDI*の仕様が取引先ごとに異なるなど不統一。
2. 現状を踏まえた課題とソースマーキングの有効性の整理	目視による検収作業や手書き作業等、産地・出荷先の両方で非効率な作業、ヒューマンエラーが多く発生。 →誰もが使いやすいかつ汎用性あるシステムの構築及びそのシステム、EDIを用いた産地での情報作成等の必要性
3. 実証試験におけるシステム構想等の検討	▶システムの詳細は次ページ ▶産地でシステムを活用して情報を作成、QRコードのついたラベルとして出力及び添付（ソースマーキング）
4. 実証結果	入力作業等の慣れ不慣れによる結果の違いはあったが、共通して検収作業時間の短縮等、全体的な作業フロー効率化の効果が得られた。

* EDI: Electronic Data Interchangeの略、受発注など取引に関連するデータの電子化を指す。

ソースマーキングの有効性の検討②

【実証試験におけるシステム構想】



- ・花きEDI標準フォーマットおよびJFコードを搭載
- ・効率性と正確性の実証のため一括で大量のQRコードを読み込むカメラの仕組みを構築

目 次

1. 物流をとりまく状況
2. 花き流通における物流効率化の取組
3. 他の業種・品目の流通における物流標準化の取組
4. 花きの流通標準化に向けた今後の取組

業種横断的な物流標準化の取組－官民物流標準化懇談会①

出典：「第1回官民物流標準化懇談会」資料より国土交通省更新

総合物流施策大綱

物流にかかる規格の標準化

官民物流標準化懇談会

議題：ハード・ソフト含むすべての物流各項目（パレット・外装サイズ、外装表示、納品伝票、コード体系・物流用語等）の規格にかかる標準化

進め方：特定の標準化項目（例：パレット規格等）を取り上げて、順次、実行に結び付く標準化の方向性（標準規格／民間・行政での具体的な推進手法等）につき議論・検討。詳細の検討にあたっては懇談会（年1～2回）の下に分科会を設置する等で対応。

構成員：行政、物流団体、主要物流事業者、学識経験者、経済団体、荷主系団体等

日本物流団体
連合会

経営効率化
委員会

物流標準化の
推進に向けた
調査小委員会

連携
協力

検討結果の業界への共有

検討結果の業界への共有

先例としての知見の提供

先例としての知見の提供

【ソフトの標準化】

◆SIPスマート物流 サービス

・物流・商流データ基
盤を活用したデータ連
携・標準化による物流
効率化

基盤の利活用を通じた
物流情報の標準化

先例としての
知見の提供

業種分野ごとの 物流標準化の取組

・ハード・ソフト含むすべての物流各項目
（パレット・外装サイズ、外装表示、納品伝票、
コード体系・物流用語等）の規格にかかる標準化

加工食品分野における物流標準化 アクションプラン（フォローアップ会）

青果物分野における物流標準化の取組 （青果物流通標準化検討会）

紙加工品分野における物流標準化の取組 （紙加工品（衛生用品分野）物流研究会）

標準化による
更なる生産性向上
・労働時間改善

商慣習等見直し
による標準化推進

トラックドライバーの 働き方改革

- ◆ホワイト物流推進運動
- ◆標準貨物自動車運送約款等
の改正 等

業種分野ごとの 生産性向上及びトラック ドライバーの労働時間 改善に関する懇談会

- ・受発注条件の見直し
- ・荷待ち時間の削減
- ・荷役時間の削減
- ・附帯作業時間の削減 等

加工食品物流における 生産性向上及びトラック ドライバーの労働時間 改善に関する懇談会

酒・飲料

建設資材物流に おける…懇談会

紙・パルプ物流に おける…懇談会

自動化・機械化の取組の推進

高度物流人材の育成・確保

業種横断的な物流標準化の取組－官民物流標準化懇談会②

パレット分科会取りまとめの方向性

(現在取りまとめ中に付き、この項文責；食品流通課長 武田裕紀)

(パレット標準化の効果)

- ① パレット標準化は間接的に荷役の機械化を推進し、これにより手荷役解消と労働時間短縮に資するとともに、女性や若者、高齢者等の多様な人材の確保を可能にするなど、物流機能を維持するために極めて重要な方策の一つ
- ② 発荷主においては、共同化による積載効率の維持や向上、パレットと商品情報を紐付けることでのトレーサビリティ担保等にも活用。また、着荷主においても、荷受け作業時間の短縮（事前出荷情報（ASN）の導入による検品レス等を含む）、物流施設のDX促進

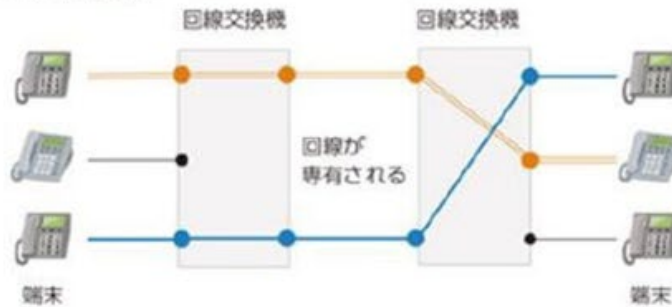
(これからパレット化を行う事業者推奨するパレット規格)

- ① これからパレット化を図る事業者において、当該事業者が複数の選択肢が取り得る場合には、現在日本国内において最も広く普及している平面サイズ1100 mm×1100 mmのパレットを推奨
- ② 業種分野ごとの状況、パレットに載せる商品・製品の特性や、パレットが利用される個別の場面において、上記①の推奨規格を採用することが困難な場合や、物流効率化の観点からも推奨規格とは異なる規格を採用することがより合理的な場合もあると考えられることに留意

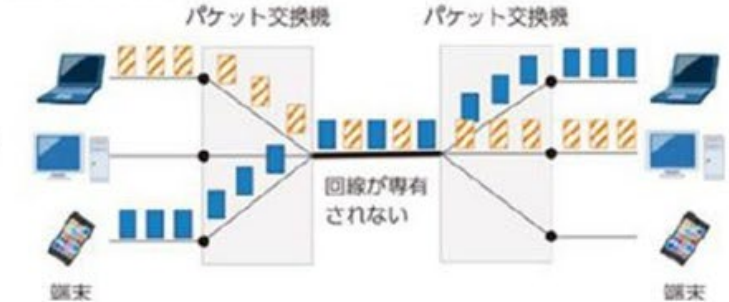
フィジカルインターネットのコンセプト

（インターネット通信）
デジタルインターネット

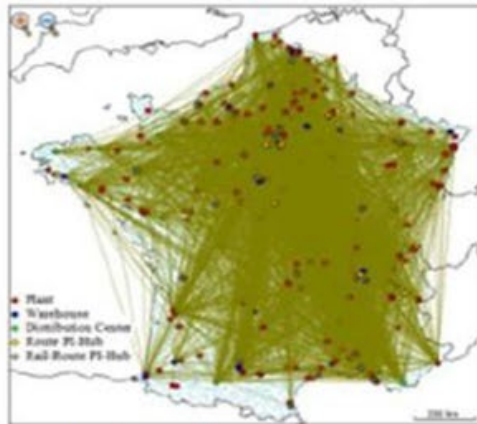
PSTN (回線交換)



IPネットワーク (パケット交換)



（物流）
フィジカルインターネット



出所：総務省（2019）「平成の情報化に関する調査研究」、IPIC 2018 Eric Ballotプレゼン資料より

フィジカルインターネットロードマップ

